

## 第5回豊岡市基本構想審議会 会議録（要旨）

開催日時 平成28年8月5日（金）午後3時～午後4時15分  
開催場所 豊岡市役所 3階庁議室  
出席委員 加藤委員、井垣委員、大槻委員、近本委員、西村委員、土野委員、宮崎委員、  
由利委員、岡本委員、河口委員、河本委員、酒井委員、中川委員、田口委員、  
上田委員、中嶋委員  
欠席委員 平峰委員  
傍聴人 1名

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

皆さん、ご苦労様です。今日の講演会もすごく良い話でしたね。個人的にはいろいろと触発されました。早速ですが始めたいと思います。

### 3. 報告事項

#### ①高校生ワークショップの開催結果、委員さんの感想

会長 参加されたメンバーの方に印象、感想をお聞きしたいのですがよろしいでしょうか。

(委員) 2グループでやっていたのですが席が離れていて聞こえなかったのが残念でした。途中の経過を聞くことができなかつたんです。それでも高校生たちは、時間内に、まとめあげてキャッチフレーズまで決めていて、発表もきちんとしていました。生徒にとっても地域を考えるいい機会だったのではないのでしょうか。

(委員) 経過が聞けなかったのは残念ですが、私が出石高校の2年生のときにこんなことを考えていたのかなあと思いました。私たちの後輩があんなに堂々としつかりした意見をもっていて、高齢者が住める豊岡にしていきたいということをどちらの班も話していて、安心して感無量でした。

(委員) 聞かせていただいたのですが、思っていた以上に豊岡の田園風景を褒めるとともに、最先端の世界とかそういう文化も表示したいという両方の意見を強く感じました。高校生は希望に満ちた世代なので、できれば、豊岡に残った若者、豊岡に就職した若者、一旦、豊岡を出たけど辞めて帰ってきた若者の意見も聞きたいと感じました。色々な形で帰ってきていると思うんです。挫折してとか、希望に満ちてとか、高校からずっといるとかあると思うので、高校生とあわせて聞けるといいと思いました。

(委員) ワークショップの設定が分からず、もっとたくさんの方がいてやっているものと思っていました。私自身は、高校生でも、それぐらいのことしかとかというか、大人と同じような感覚しかない、高校生としての意見が聞けなかった、物足りないなという感じがしました。

会長 なるほど、わからなくはないですね。私も日々、学生に接していますが、社会は学生に対して、私たちと違う発想でという期待がありますが、実態はそうはいかないですね。今回の高校生もワークショップを手がかりにして、そのあたりで今後、斬新な意見が出てくるかもしれません。みなさん、ありがとうございました。事務局からは、高校生であそこまでやってくれて良かったと聞いています。この成果を審議会の皆さんも取り入れてまとめを作っていただければと思います。

## ②市民アンケート結果（速報）

### ～ 事務局（業者）から説明 ～

会長 これだけの内容では何のことか分からない。今後、もう一步分析を進めていただきたい。意見や分析方法等についてなにかご意見があれば。

事務局 あくまで速報値であり、最終結果は本日のものを含めてと考えています。その後、もう少し分析していく予定となっています。

会長 わかりました。これは中間報告ということです。

(委員) 3,000通はどのような年齢構成比で配布を行われたのでしょうか。

事務局 全くの無作為抽出となっており、各世代で同等の割合となっていると思います。

会長 アンケートの設問がわからないので、次回はアンケート票そのものも報告してください。

## 4. 協議事項

### ①基本理念の確認、将来像について、取り組みの柱について

#### ～ 事務局から説明 ～

会長 まだ検討途中のたたき台ということですので、皆さんの意見で今後、変更していくものだと思いますので皆さんのご意見をどんどんお聞かせください。突然取り組みの柱と言われてもなかなか難しいかと思いますがいかがでしょうか。皆さんのご意見をもとに整理しておりますので、お気づきの点をお聞かせいただければと思います。

(委員) 今日の話と関連しますが、このメンバーで新しく事業を起こした方もいるかと思えます。既存のバリアが高くてという話もありました。商工会議所と商工会の2つの連携がうまくいっていないのではないかという話もありました。コウノトリの野生復帰を行ってきたまちであり、新しく事業をする方が厳しいというのはアンバランスですので、そういった風土を是正するような書きぶりなどがこかにいられないかと思えます。

会長 講演会でも言われてましたよね、変わらないといけないと。

(委員) 豊岡市の大らかさというような話をいただければと思います。

会長 今日の講演のキーワードを入れ込んでいただければと思います。

- (委員) 外国人であろうが、障害者であろうが、男女であろうがそれを受け入れるというのは多文化共生ではないでしょうか。アンケートでも多文化共生が1.6%と低く、多文化共生という言葉が難しく、意味が分からないのではないのでしょうか。
- 会長 おっしゃるとおりですが、多文化共生という言葉そのものがこれまでは外国人との共生ということで使われてきた経緯があって、新たにここで再定義をするか、もう少し広いものを含んでいるんですよという言い方にするのかどちらかだと思います。今日の講演の話をどこか視点として組み込んでいただければと思います。
- (委員) 外国人にも優しいということは日本人にも優しいということなんですよということですね。
- 会長 もともとの定義がある言葉を大きくとるとするのは難しいかもしれないですね。このあたりは事務局でご検討ください。
- (委員) (5) ですが、地域の課題解決の仕方のなかで、先ほどの講演でもあったように、「村社会」という地域の課題については地域で解決していくことが重要だと思います。
- 会長 構想のところに書き込むのは相当難しい気がします。豊岡のコミュニティそのものの方向性や表現は難しいと思いますがいかがでしょうか。取り組みの柱であり、基本構想なので、なかなか表現として入れ込むことは難しいかもしれませんね。
- (委員) 社会潮流で触れるかですね。
- 会長 今の皆さんのご意見から作文いただければと思います。難しそうですが。
- (委員) 柱を見ると、時代が大きく変わる中で、中身をちょこっと替えるくらいでこのままで良いのかなというのが疑問です。10年先から20年先を強く書いていくほうが良いのではないのでしょうか。総花的でいいものはいいのですが、今後、人口減少が激化する中でこれでよいのか、若い世代にこのまちなに移り住んでもらうためには、若い世代が移り住んでくるという覚悟をもった書き振りでないといけないのではないのでしょうか。
- 会長 市の総合計画というのはこういうものなので、なかなか(委員)のおっしゃられるようには難しいと思いますが、そのようにしていきたいとは思いますが。2030年くらいを前提に半分くらいの仕事なくなるという話もありましたが、仕事なくなると産業構造がなくなるという話で、この表現はこれまでどおりの総合計画を踏襲して整理されていると思うので、間違っていないが、危機意識がないのも否めません。皆さんが議論していただいたものも整理をしていただいでいて、ある種の方向性をもって新たな展開を示すというやり方も可能ではないかと思いますが、事務局のほうでご議論いただいで、方向性を少し出していただいたほうがよいかもしれませんね。
- (委員) 講演の話でもありましたが、ものすごく変わってきており、ある意味、人口減少対策がチャンスでもあるという話がありました。社会包摂がネガティブであ

ったものがポジティブに変わってきたということでした。コウノトリと書いてあるので豊岡独自のものとはなっていますが、どこが作っても同じようなものになるので、かなりの予算をかけるのであれば、ある意味宣伝効果、PR効果のあるものを考えたほうがよいのではないのでしょうか。一番いい形はある種振り切ったまとめ方、かなり過激なものとか、ある程度エッジが立ったものをある段階までは、作っていったほうがよいのではないのでしょうか。

(委員) 　どんな人でもチャレンジできるようなまちにする必要があるのではないのでしょうか。Iターンしてきた私も風当たりは実際にはきつuitと感じていて、自分の身内なので力になりたいとか思ったときに、すでに水面下で話が進んでしまっていると、チャレンジ精神がくすぐられないと思います。ここまでやるのかというものを作り、ハードルを低くして、いろんな人たちがチャレンジできるものを、そのような仕組みづくりをしていかないといけないと思います。

会長 　私は経済産業の専門家であり、講演の話を聞いて共通項があるのか、経済学者の話と合わないのではないかと感じていましたけど、今日聞いて非常に面白かったです。そんなことでも一つの方向性を出せるものだと思います。たたき台を全てなしにしてというのは厳しい話とはしても、皆さんのご意見としては、少しおとなし過ぎる計画ではないかというご意見なので、豊岡の将来を見直して、ちょっとみんなでやってみようと思うようなものを再検討いただきたいと思います。

(委員) 　行政に与えられるまちはこんなまちですよという受動的な感じがしますね。市民みんながチャレンジして、子どもでも誰でも、ここでみんなが起業するようなそんな雰囲気が出るような表現がほしいですね。

(委員) 　(4)で、地域の担い手とありますが、これは家族の担い手でもあり、それは当たり前なんでしょうが、Iターンばかりではなく、家族のあり方として、将来、地域に戻ってくるということから考えていかないといけないのではないのでしょうか。そのなかの家族の担い手をどこかでうたえないかと思いました。当たり前だといわれるかもしれませんが。

(2)の小さな都市(まち)の記載で、まだ豊岡は都市までいっていないと思います。都市というと私たちの考え方では、産業都市とか、宗教都市とか、何かカラー的なものがあると思うので、今後目指していくということならわかりますが。また、「TOYOOKA ファン」はなぜ、わざわざアルファベットを用いているのですか。

事務局 　世界のなかでの豊岡として、外国人を対象にしているのでアルファベットとしています。豊岡に来ていただいて、その後、定住として住んでいただくという話がありますので。

会長 　全体の方向性については皆さんのご議論を踏まえてきちっと出していただいで再構成をお願いします。とんがった計画とするといろいろと軋轢が増えていくので、そのあたりも踏まえてご検討いただければと思います。将来像について

は、現在は「コウノトリ悠然と舞うふるさと」というところで、これも今後検討していくということなので、これも皆さんまた意見があれば事務局までご連絡ください。

事務局 今日の講演会も踏まえながら、また内部で検討させていただき、見直しをさせていただきます。

## 5. その他

事務局 次回は10月を予定していますのでよろしくお願いいたします。

## 6. 閉会